

誰もが安心して
しあわせに暮らせる
まちづくり



社会福祉法人

町田市社会福祉協議会
創立65周年記念誌

「65歳を迎え、越し方を振り返って」



会長 鈴木 忠

町田町は1954（昭和29）年に南村と合併し、翌年2月、堺村、忠生村、鶴川村と大同大合併、商店街を提灯行列でお祝いするなか、町田市はその産声を上げました。私共も同年5月に任意団体として発足。1969（昭和44）年社会福祉法人としての認可のもと、行政や地域の皆様の温かいご理解ご協力をいただきながら、地域が必要とする諸々の福祉に係わる諸事業に携わってまいりました。

1996（平成8）年度から「第一次町田市地域福祉活動計画」がスタートしましたが、その基本理念は「誰もが安心してしあわせに暮らせるまちづくり」で、現在の第五次同計画においても継承されて来ております。特に具体的目標として以下の3項目を掲げました。

- 1 手助けの輪をつくる、つなげるみんなのまち
- 2 支えあい、寄り添いあうみんなのまち
- 3 必要な支援を届けられるみんなのまち

そして、ひとつでも多くの「笑顔の花を咲かせる！」そんな活動を真摯に取り組んでまいり所存であります。

縁あって生活する場、働く場所を同じくする市民の皆様と、互いに連携し協力しあって、より手助けを必要としている方々へのアプローチを、より充実したものへとさせていくため、サテライトオフィスとして相原地区に「まちだ福祉〇ごとサポートセンター堺」を開設いたしました。また、市内各種団体や個人の皆様からの多大なご協力を受けて「バザーでエール」がスタートし「フードバンクまちだ」や「おうちでごはん」事業などもより充実したものとなってきて、笑顔の花もたくさん咲くようになりました。

これからも行政と一体となって、手助けを必要とされている方にしっかりと寄り添う福祉活動を、来るべき70周年に向けて役職員一同「志」を一つにし、関係する皆様のお知恵とお力添えをいただきながらその職務を遂行してまいります。

今後とも町田市社会福祉協議会に対しまして、なお一層のご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

65周年記念ロゴマークとあいちゃん

本会のイメージキャラクター「あいちゃん」は1997年（平成9年9月4日）に開かれた「ふれあいのまちづくり推進委員会」の中で、当時玉川学園在住の漫画家みつはしちかさんに、イメージキャラクターを描いていただいたらどうか。という提案が誕生のきっかけでした。

その後、みつはしさんにお会いしお願いをしたところ、ボランティアで描いてくださることが決定しました。

「あいちゃん」の名前は、1998年（平成10年）5月のまちだ社会福祉だよりで公募し、51名の応募の中から、「あいちゃん」に決定しました。

今年創立65周年を記念し、記念ロゴマークを作成しました。このロゴマークは、あいちゃんとともに町田の地域福祉を推進する組織として、安心としあわせづくりに取り組む姿勢をイメージしています。

これからも本会とともに色々な場面で活躍するあいちゃんの応援をよろしく申し上げます。



誰もが安心して しあわせに暮らせるまちづくり

町田市社会福祉協議会(以下「町田市社協」)は、1958年5月29日に任意の団体として創立、1969年9月22日に社会福祉法人として認可され、2023年に創立65周年を迎えました。

2022年度からは「第五次町田市地域福祉活動計画」に基づき、地域住民やボランティア、NPO、民生委員児童委員、町内会・自治会、老人クラブ、福祉施設、企業及び行政等様々な方や団体との「協働」により、「福祉のまちづくり」に取り組んでおります。

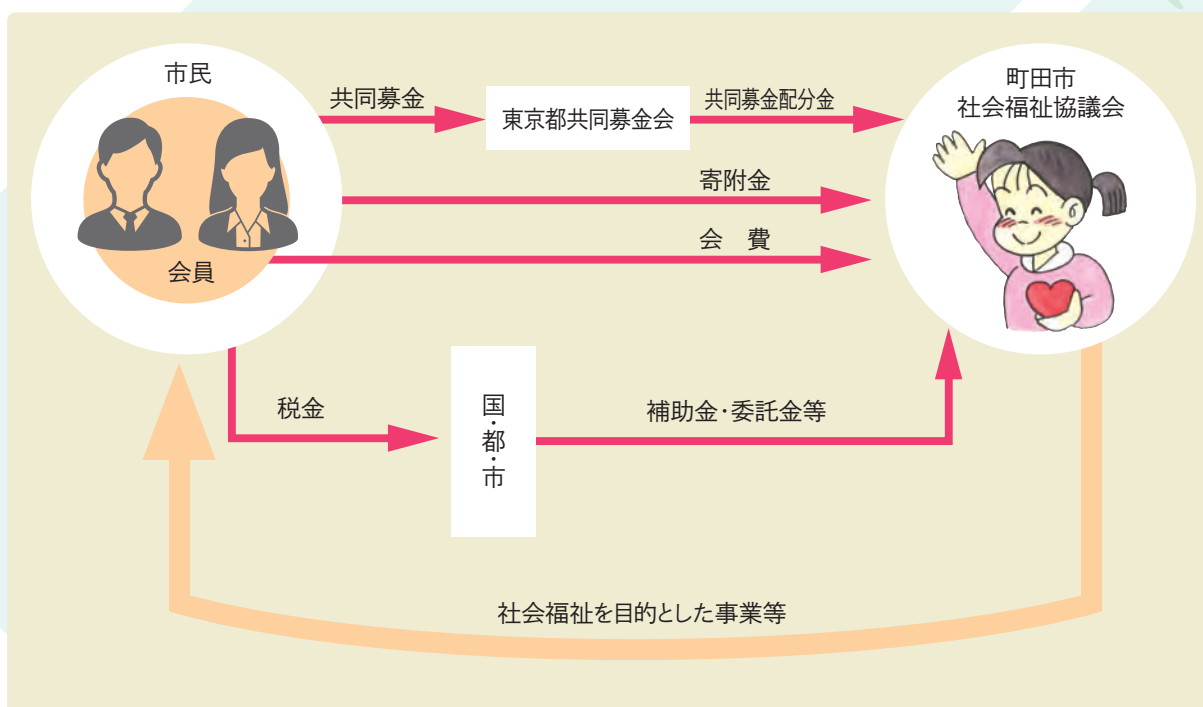
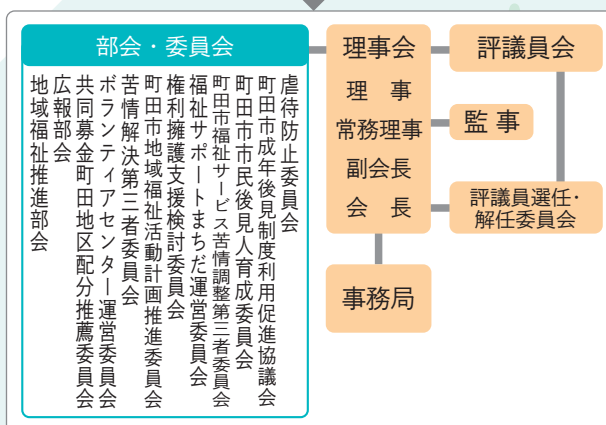
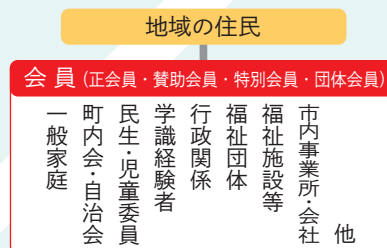
組織

町田市社協は、地域住民やボランティア、福祉・保健等の関係者と行政機関で構成する民間非営利の社会福祉法人です。

住民のみなさんを会員として構成する団体ですので、どなたでも会員になり参加することができます。

財源

会員会費や寄附金等を基盤とし、国や都、市からの補助金及び委託金、共同募金配分金等で運営しています。



第五次町田市地域福祉活動計画の取り組みについて

計画の目的と位置づけ

近年の地域社会においては、福祉課題は複雑・複合化し、現在の制度の枠組みだけでは解決が困難となっています。複雑で多様な福祉課題に対応するためには、地域住民相互による支え合いの仕組みづくりや、それを支援する関係機関、福祉専門職等との包括的な体制構築がより一層求められています。

これらを踏まえて、第四次町田市地域福祉活動計画の理念、実践を継続しつつ、町田市と連携しながら、住民や地域の諸団体との協働により、地域の福祉課題の解決に向けて地域全体で取り組む民間の活動計画・行動計画として「第五次町田市地域福祉活動計画(2022年度～2026年度)」を策定しました。

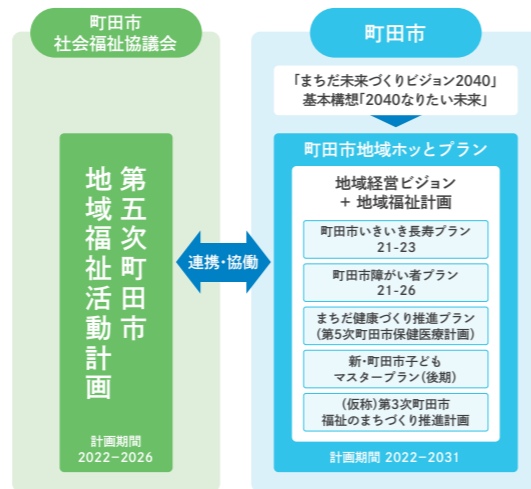
また、町田市が策定する「町田市地域ホットプラン」は、社会福祉法第107条に基づく「市町村地域福祉計画」を包含する計画であり、本計画と同じく「地域福祉の推進」を目的としていることから、市民との協働による地域社会づくりにあたり、両計画が相互に連携・協働しながら地域福祉を推進します。

地域における地域福祉推進に向けて

地域福祉コーディネーターが中心となって、福祉ネットワークの構築に向け取り組みを進めます。福祉ネットワークでは、多様な主体が集まり、地域の課題解決に向けて、情報や社会資源の共有、解決方法の検討を行うことやメンバー相互の意識啓発による人材育成を目指します。

2023年1月には、堺地区(相原町・小山町・小山ヶ丘)に本会のサテライト事業所「^{まる}まちだ福祉〇ごとサポートセンター堺」を開設し、地域の身近な福祉相談窓口として広く相談を受け付け「誰もが安心してしあわせに暮らせるまちづくり」のための新たな取り組みを開始しました。

【計画の位置付け図】



計画の基本理念と体系

第一次町田市地域福祉活動計画の策定以来の基本理念である「誰もが安心してしあわせに暮らせるまちづくり」を継承するとともに、その実現に向けて、新たに市民とともに進める3つの目標と、それら目標の達成と社協組織の基盤強化のための目標から構成される4つの基本目標を設定しました。

【基本理念】

誰もが安心してしあわせに暮らせるまちづくり

【基本目標】

1 手助けの輪をつくる、つなげる みんなのまち

2 支えあい、寄り添いあう みんなのまち

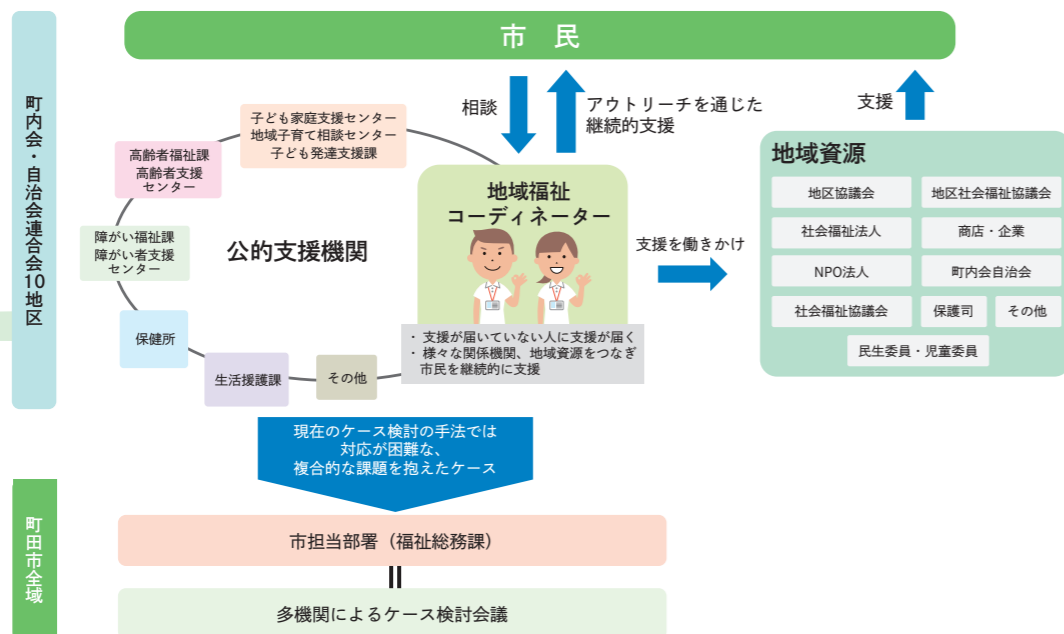
3 必要な支援を届けられる みんなのまち

4 社協組織の基盤強化

【基本施策】

- 1-1 地域への主体的参画を進める意識づくり
- 1-2 地域福祉の担い手の確保と育成
- 1-3 地域課題の解決を図るネットワークの構築
- 2-1 地域での見守り・日常生活支援の充実
- 2-2 市民活動・ボランティア活動の促進
- 2-3 災害に備えた支援の充実
- 3-1 権利擁護支援の充実
- 3-2 様々な人や世帯への生活支援
- 3-3 福祉専門人材の確保・育成・定着支援
- 4-1 財源の確保
- 4-2 推進体制の強化

【地域福祉コーディネーターの役割】



history

町田市社会福祉協議会のあゆみ

1958年（昭和33年）

町田市社会福祉協議会（任意社協）誕生
元町田市役所内（原町田5-8-24）で業務を開始しました。

初代会長 五十嵐朝治氏 就任

1974年（昭和49年）

第三代会長 松沢勲氏 就任

1969年（昭和44年）

町田市社会福祉協議会（法人化）
より安定した事業運営を図るため、町田市社協役員と行政が一体となって法人化の認可を受け社会福祉法人町田市社会福祉協議会が誕生しました。

第二代会長 青山藤吉郎氏 就任

1975年（昭和50年）

老人と子供の集い実施
交通災害遺児に対し激励大会を実施
一人暮らし高齢者に激励金贈呈 等

1977年（昭和52年）

ボランティアに対する助成実施
市内老人ホームにオムツを贈る運動を民協婦人部の協力を得て実施

1978年（昭和53年）

第四代会長 斉藤繁氏 就任

1979年（昭和54年）

第1回福祉バザーの開催
第五代会長 谷節能氏 就任



1986年（昭和61年）

せりがや会館オープン
第1回めぐり愛社協まつり開催

1987年（昭和62年）

第六代会長 加藤忠男氏 就任

1988年（平成元年）

児童電話相談実施

1989年（平成元年）

在宅介護者激励事業の開始
第七代会長 坂本八郎氏 就任



1990年（平成2年）

町田ボランティア・センター設立
（事務局内）

1994年（平成6年）

社会福祉だより 新聞折込による全戸配布開始
第八代会長 小山貴光氏 就任

1996年（平成8年）

第一次町田市地域福祉活動計画策定
まちだコミュニティカード発行



1997年（平成9年）

福祉機器リサイクルまちだ オープン
社会福祉だより年6回定期発行開始
あいちゃん誕生



1999年（平成11年）

事務局、ボランティア・センターの移転
町田市民フォーラム4階（原町田4-9-8）に移転しました。

2005年（平成17年）

学童保育事業を受託
平成17年4月1日、町田市より指定を受け、13の学童保育クラブの管理運営をスタートし現在は市内15の学童保育クラブを運営しています。

2009年（平成21年）

福祉サポートまちだ開設
2007年から成年後見制度の周知や権利擁護に関する相談に対応するためのセンターを検討し、2008年10月からプレスタート期間を経て、2009年4月町田市から受託事業により開設しました。

いきいきポイント制度受託
法人後見受任

2011年（平成23年）

緊急小口資金(特例貸付) 開始
特定法人後見事業開始
東日本大震災職員派遣
孤立化防止事業受託

2013年（平成25年）

創立55周年
町田市内学童保育クラブ絵画作品展開始
要介護認定調査受託
親子でヤキイモプロジェクト開始

2016年（平成28年）

森野学童クラブ指定管理により運営開始
まちだ社会福祉だより1・4面カラー化
全域生活支援コーディネート事業受託

2001年（平成13年）

協働事業 あいちゃんクッキーの発売開始
知的障がい者生活寮「カブス」開設



2007年（平成19年）

町田市福祉輸送サービス共同配車センター設置
子育て支援事業「にこにこクラブ」開始
第九代会長 佐々木のり氏 就任
第二次町田市地域福祉活動計画策定

2010年（平成22年）

玉川学園地区社協誕生（設立）
市内で最初の地区社協が設立されました。
法人後見監督受任

2012年（平成24年）

第三次町田市地域福祉活動計画策定



2014年（平成26年）

南町田福祉ネットワーク誕生(設立)
(市内2カ所目の地区社協)
市民後見人育成事業開始

2017年（平成29年）

第四次町田市地域福祉活動計画策定
町田市と協働で地区別懇談会開催
税額控除対象法人の認定
第十代会長 小野敏明氏 就任



2018年（平成30年）

町田市社会福祉協議会60周年
60周年記念表彰式



2019年（令和元年）

おうちでごはん事業開始
ファミリー・サポート・センター事業開始
鶴川地区社協設立（市内3カ所目の地区社協）
ボランティアの心得冊子作成



ボランティアの心得冊子

2020年（令和2年）

相原たけの子学童保育クラブ運営開始
フードバンク事業開始
緊急小口資金等特例貸付開始
成年後見制度中核機関設置
権利擁護支援検討委員会設置
クラウドファンディング「みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田」実施
災害時相互協力協定を（一社）青年会議所と締結
狭隘化対策による事務所改修工事実施



2019年の主な出来事

令和元年東日本台風（台風19号）
天皇即位、元号「令和」へ
消費税10%に、軽減税率導入
京都アニメーション放火殺人事件（36人死亡）
イチロー氏引退
ラグビーW杯で列島熱狂
首里城火災、正殿など焼失
ノートルダム大聖堂火災

2020年の主な出来事

新型コロナ猛威、初の緊急事態宣言
東京五輪、1年延期
安倍首相が退陣、菅政権が誕生
「鬼滅の刃」大ヒット
英国がEU離脱

2021年（令和3年）

相原地区社協設立（市内4カ所目の地区社協）

ごはんでエール事業実施

重度身体障がい者訪問入浴事業終了

学童保育クラブにICTシステム試行導入

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応の一環として、Web会議、クラウドシステム等への本格的着手

第十一代会長 鈴木忠氏 就任



ごはんでエール事業

2022年（令和4年）

第五次町田市地域福祉活動計画策定

3年ぶりのバザー「バザーでエール」開催

手話講習会受託開始

堺サテライト事務所開設 まちだ福祉〇ごとサポートセンター堺の受託（2023年1月）

たすけあい資金貸付事業終了

会員会費額の見直し

正会員200円→500円

賛助会員2,000円→3,000円



2021年の主な出来事

夏季五輪・パラリンピック東京大会、1年延期で開催

コロナ長期化、進むワクチン接種

菅首相1年で退陣、後継は岸田氏

熱海市で土石流、死者・不明27人

真鍋淑郎さんにノーベル物理学賞

米大統領にバイデン氏就任

大谷翔平氏アメリカンリーグ最優秀選手（MVP）に



2022年の主な出来事

安倍元首相撃たれ死亡

ロシアがウクライナ侵攻

円安、資源高で値上げラッシュ

エリザベス英女王死去

コロナ猛威続く、感染2000万人超

将棋の藤井聡太竜王が最年少五冠

サッカーワールドカップカタール大会、日本が大健闘

冬季五輪・パラリンピック北京大会開催

冬季五輪過去最多メダル獲得



70周年を目指して頑張ります！

地域の課題解決のために

(2018年度から2022年度までに取り組みを開始した主な事業)



おうちごはん事業

食を通じた子育て世帯への支援としてひとり親家庭に手作りお弁当を年24回無料でお届けします。



町田ファミリー・サポート・センター事業

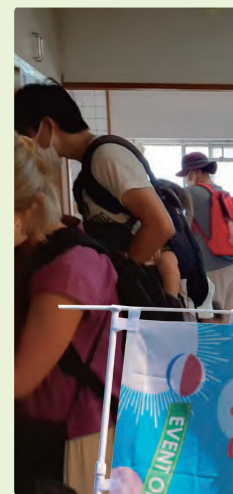
子育ての手助けをして欲しい人と子育ての協力をしてくれる人を結び付けます。



緊急小口資金等特例貸付開始

新型コロナウイルス感染症の影響で減収・休業・離職した方を対象とした特例貸付窓口を開設しました。

(2020年3月開始、2022年9月終了
実施主体：東京都社会福祉協議会)



ボランティア心得冊子

ボランティアを始めたい人への手引きを作成しました。



鶴川地区社協設立

市内3カ所目の地区社協が設立されました。

for



クラウドファンディング みんなでコロナを 乗り越えるぞ基金@町田

新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動の制約を受けた市民活動団体に対し、事業の継続を支援するためのクラウドファンディングを実施しました。



フードバンクまちだ

市民の方々や企業・団体から使う予定のない食材の寄付を募り、行政関係機関を通じて食に困っている世帯へ食材を提供しています。



ごはんでエール取り組み実施

生活福祉資金貸付や緊急小口資金等特例貸付を利用し、希望した世帯を対象に「フードバンクまちだ」に寄せられた食材等を提供し食の支援を実施しています。

サテライト事業所 「まちだ福祉〇(まる)ごと サポートセンター堺」開設

地域の身近な相談窓口として、広く相談を受け付ける他、サテライト事業所として、ボランティアセンター、フードバンクまちだ、町田ファミリー・サポート・センター等の機能の一部や募金・会費の受付窓口としても業務を行っています。
対象エリア：相原町、小山町、小山ヶ丘



バザーでエール

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していた福祉バザーを「子育て世帯応援」をコンセプトに親子で楽しめるバザーに見直し「バザーでエール」として開催しました。

被災地への職員の派遣

平成30年7月豪雨(広島県呉市)、令和元年台風19号(八王子市)、令和4年台風15号(静岡県静岡市)等、災害により被害を受けた災害ボランティアセンターへ職員の派遣を行いました。





町田市社会福祉協議会 創立65周年記念誌

発行日 2023年 9 月 編集 事務局内創立65周年記念誌編集委員 発行 社会福祉法人町田市社会福祉協議会

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-9-8 TEL 042-722-4898 FAX 042-723-4281 <https://machida-shakyo.or.jp/>